

取付説明書



アルパイン 9インチSDナビゲーションユニット

当製品の適合情報は2014年5月現在のものです。商品の仕様変更および、車両の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ（<http://www.alpine.co.jp/>）にてご確認ください。

車種	年式	型式
オデッセイ	H25/11～現在	RC1・2
オデッセイ アブソルート	H25/11～現在	RC1・2

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取扱い、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

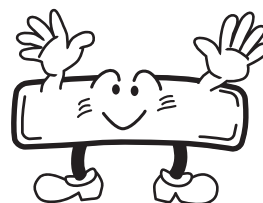
※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1. はじめに

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

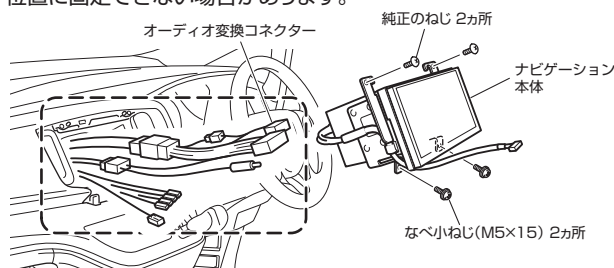
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



⚠ 注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

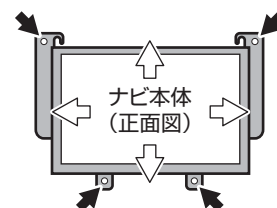
■配線の挟み込み/配線の処理について

- ナビ本体の上側/背面/下側（斜線エリア）に配線を挟みこまないように注意してください。
- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめずに分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
 - ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。	 強制	強制(必ず実行していただく内容)を示しています。
 禁止	分解禁止を示しています。		注意すべき内容を示しています。

警告

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。

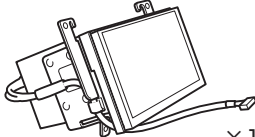
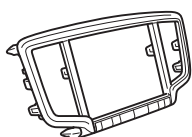
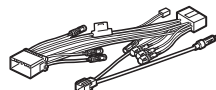
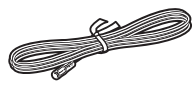
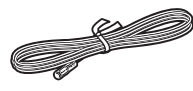
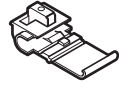
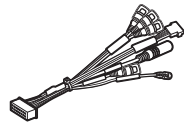
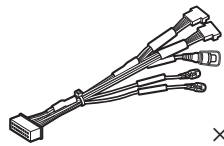
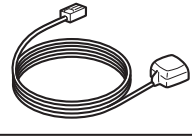
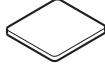
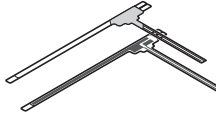
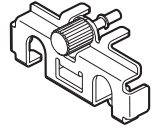
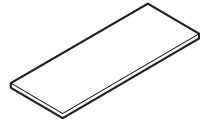
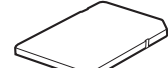
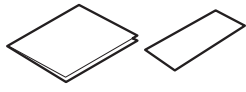
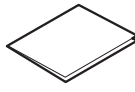


構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■ナビゲーションユニット (EX900)

部の部品は使用しません。

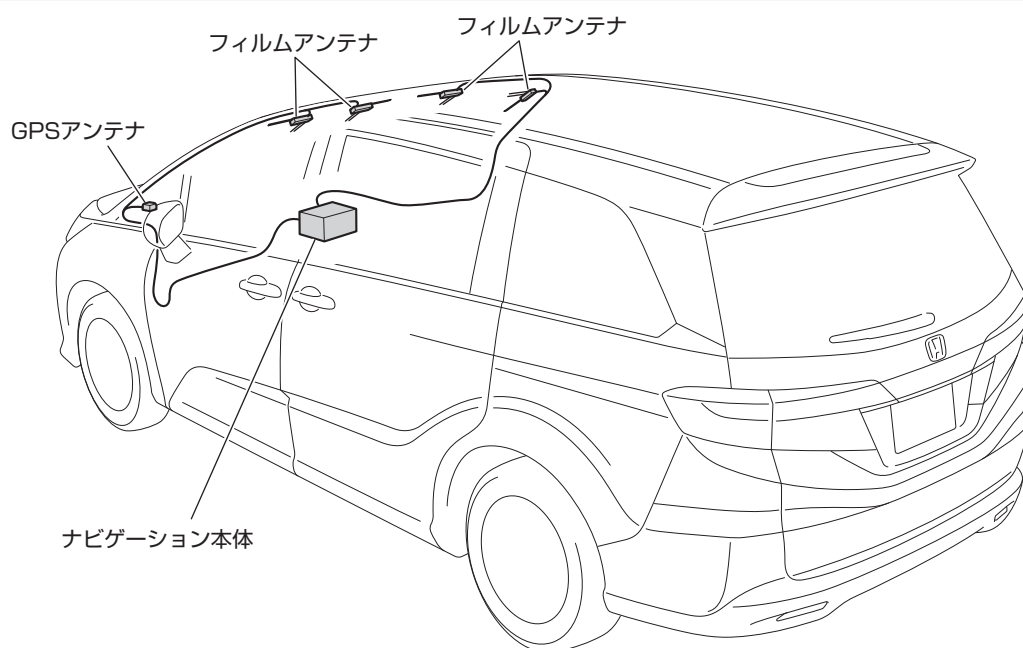
ナビゲーション本体	専用パネル	なべ小ねじ (M5×15)	トラス小ねじ (M4×8)	オーディオ変換コネクタ
 ×1	 ×1	 ×2	 ×4	 ×1
パーキングブレーキ延長コード	リバース延長コード	圧着コネクタ	外部出力コード	カメラコード
 ×1	 ×1	 ×2	 ×1	 ×1
GPSアンテナ	アンテナ取り付けプレート	コードクランプ	フィルムアンテナ式	アンテナコード一式 (4m)
 ×1	 ×1	 ×3 必要に応じてご使用ください	 A×2、B×2	 ①×1、②×1、③×1、④×1
コードクランプ	HDMI固定ブラケット	クリーナー	クッションテープ (75mm×250mm)	SDカード
 ×6 必要に応じてご使用ください	 ×1	 ×1	 ×1	 地図用×1 ^{※1} 、録音用×1 ^{※2}
B-CASカード	説明書、保証書	取付説明書一式		
 ×1	 各×1	 ×1		

※ 1 地図データ格納済み / 本機に挿入済みです。 ※ 2 本機に挿入済みです。

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10mmレンチ、カッターナイフ、ニッパーなど、マスキングテープ、保護メガネ、保護手袋(軍手) など、電工ペンチ

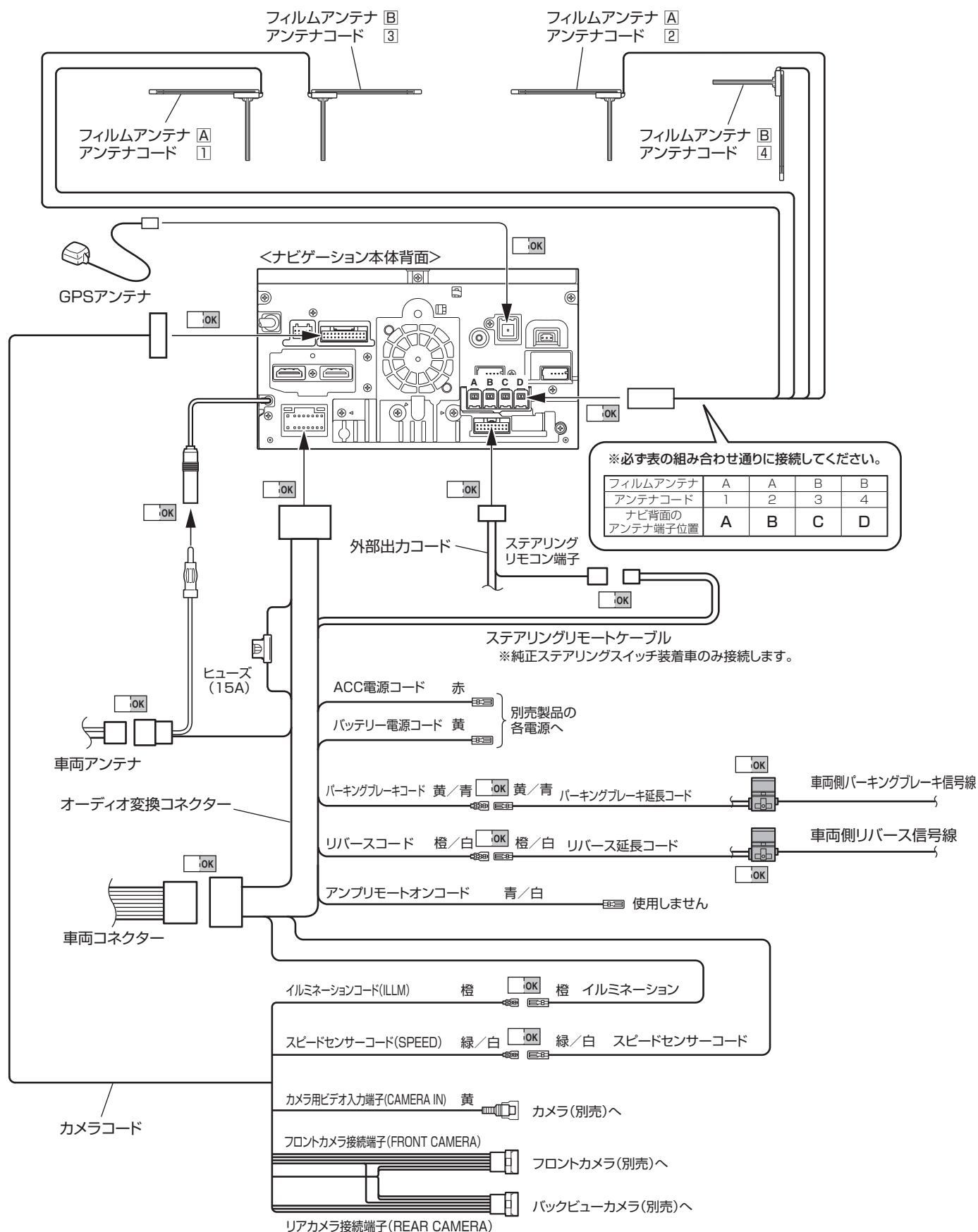
取付概要



※図は製品を取り付けた取付概要図になります。

2. 基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)



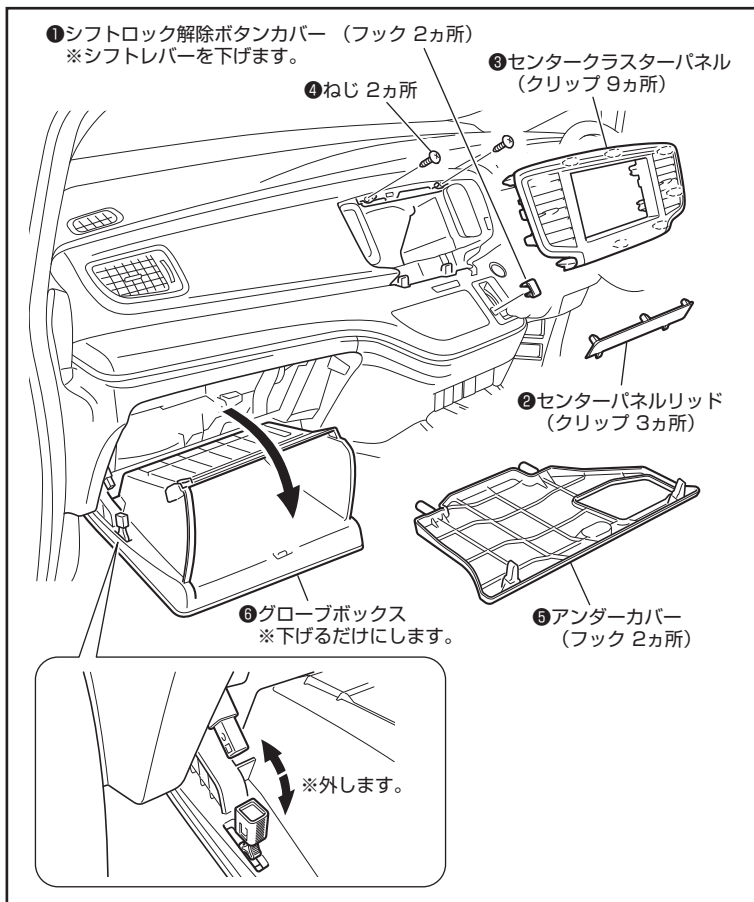
メーカーオプションの「ナビ装着用スペシャルパッケージ装着車」の場合、HCE-CO3VC(別売)を使用すれば純正リアワイドカメラが接続できます。(カメラのビュー切替はナビのタッチパネルで行えます)

※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

3. 取付要領

※作業を始める前にバッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

1. 車両部品の取り外し



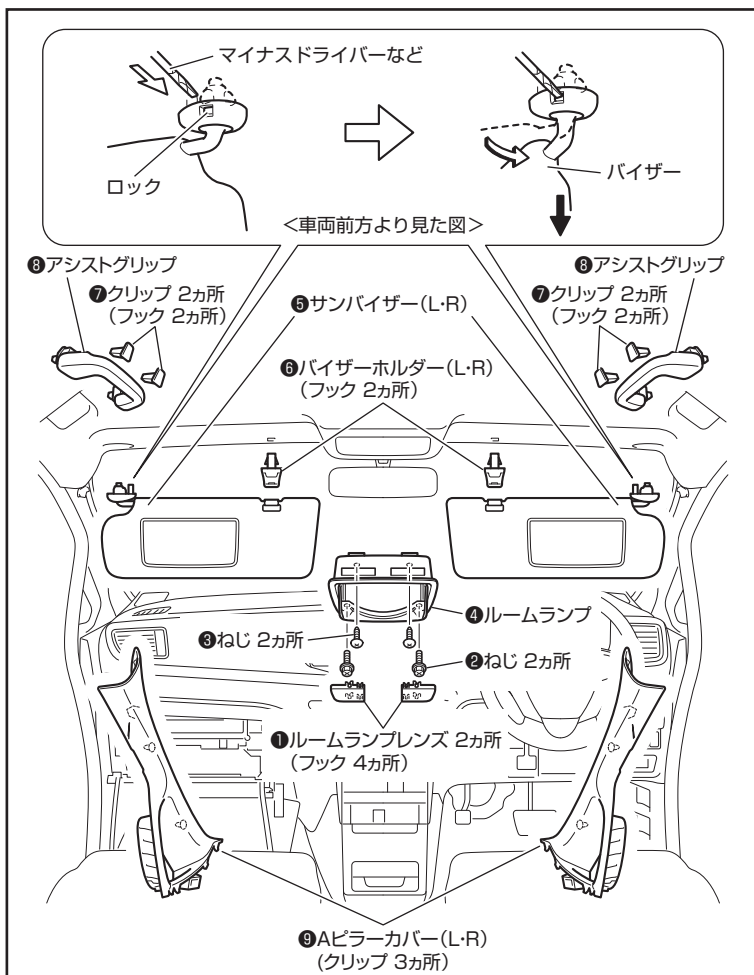
■インパネ周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

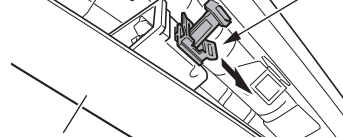


■Aピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

＜サイドカーテンエアバッグシステム付車の場合＞

Aピラークリップを横にスライドさせて取り外します。破損した場合は、別途純正部品をご用意ください。



Aピラーカバー

※反対側も同様に作業します。

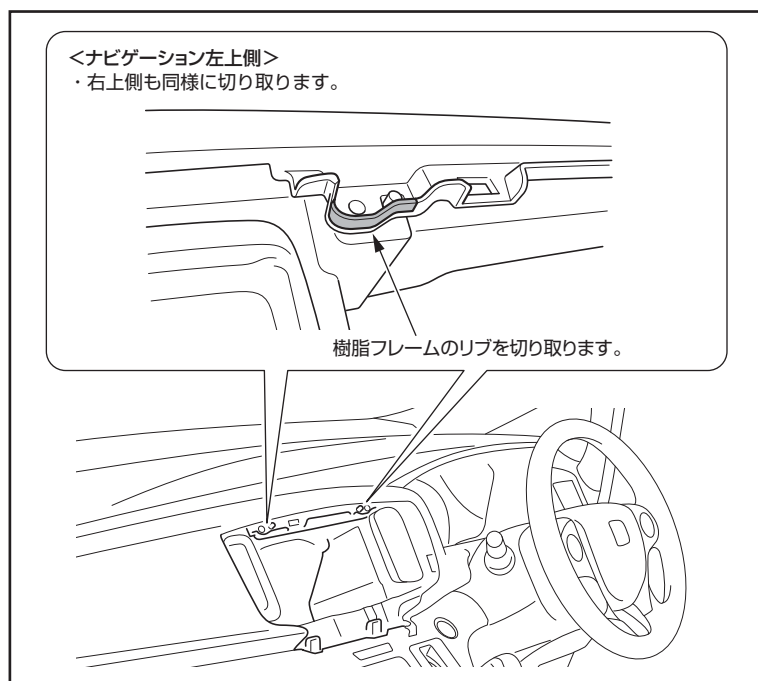


●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

2. インパネの加工



■インパネの加工

- オーディオ取付スペース部にある樹脂フレームのリブ
部をニッパーなどで切り取ります。

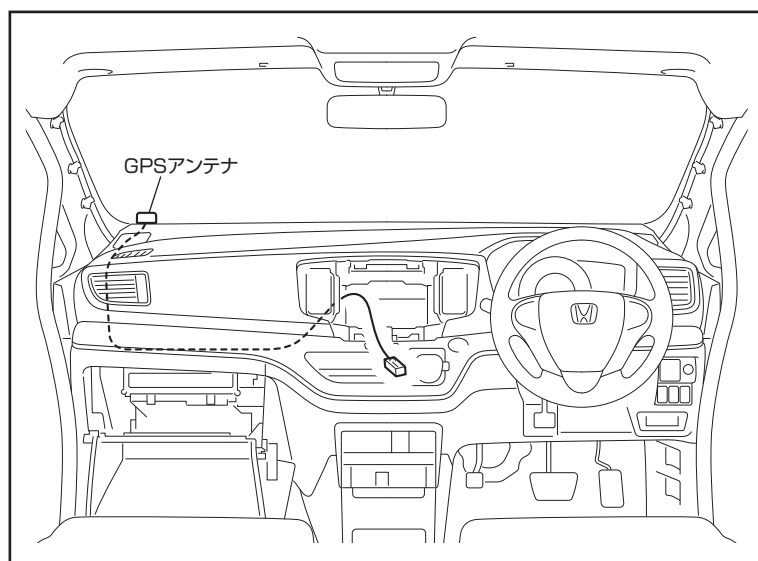
⚠ 注意

- 保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し、刃物の取扱いに注意してください。
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- 配線を切断しないように注意してください。
- リブの根元までしっかりカットしてください。（バリが残っているとパネルが浮くことがあります）

3. GPSアンテナの取り付け

⚠ 注意

取付方法の詳細については、ナビゲーションユニットの取付説明書もあわせて参照してください。



■取付概要、配線位置

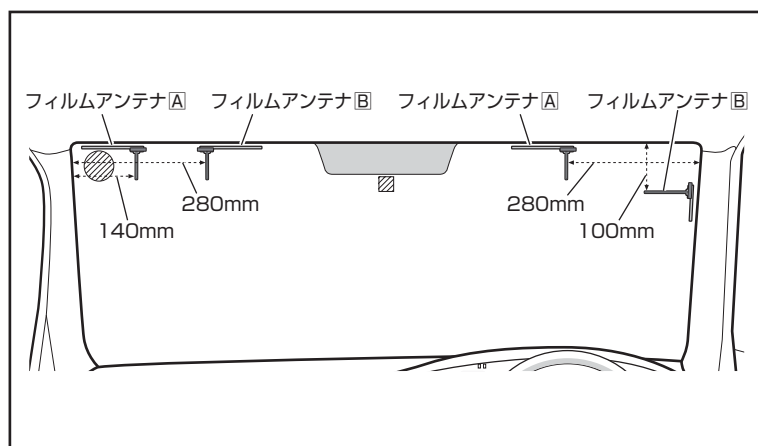
- 左図の位置に配線し、GPSアンテナを取り付けます。



Memo

同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。

4. フィルムアンテナの取り付け

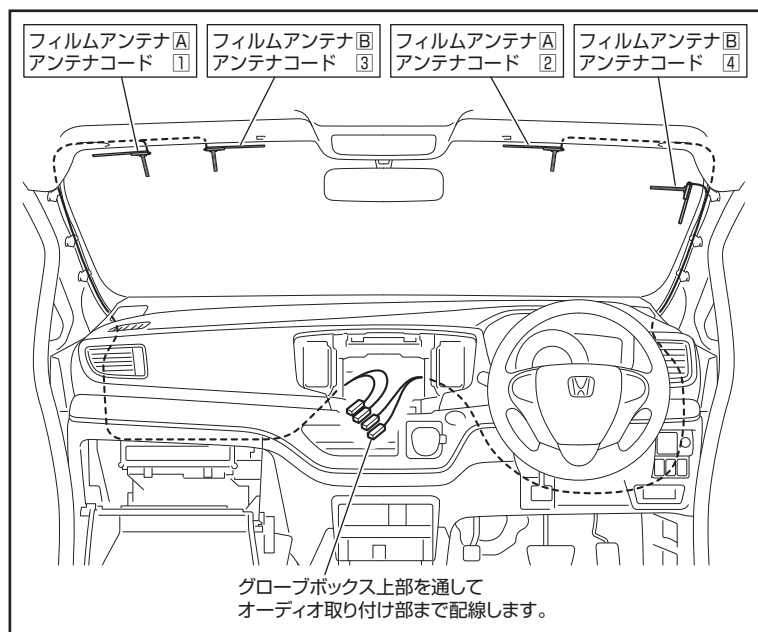


■フィルムアンテナの取り付け

- フィルムアンテナをフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。貼付方法の詳細は、11ページ「フィルムアンテナの貼付方法」を参照してください。

⚠ 注意

- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。



2. 接続図を参照して各アンテナコードの給電端子を取り付けます。

注意 地デジ受信性能をより向上させるために、必ず左記のアンテナ/コードの組み合わせで取り付けてください。

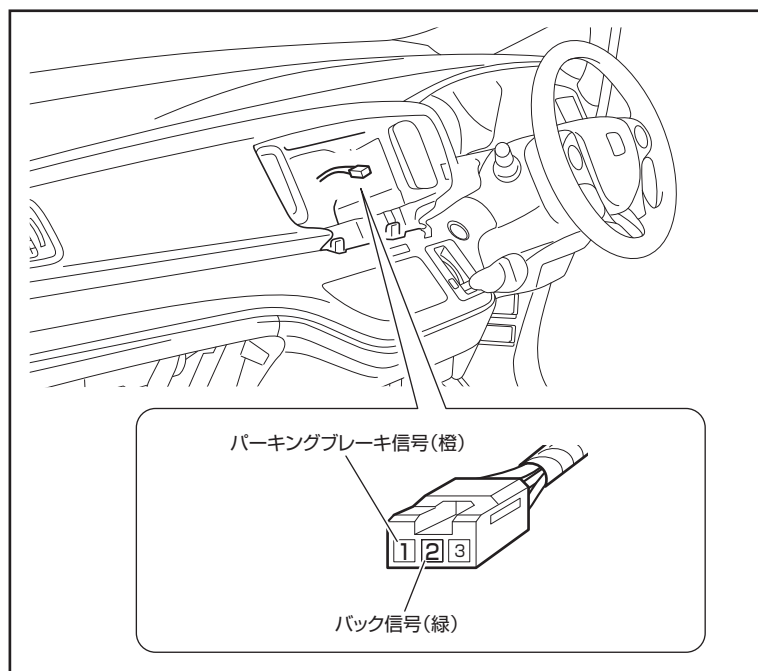
3. アンテナコードを左図の位置に通してオーディオ取付部まで配線します。

注意 カーテンエアバックに干渉しないように配線してください。

Memo

- 同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。
- アンテナの配線余長を束ねる場合は、ナビゲーション裏を避けて束ねてください。

5. 各コードの接続



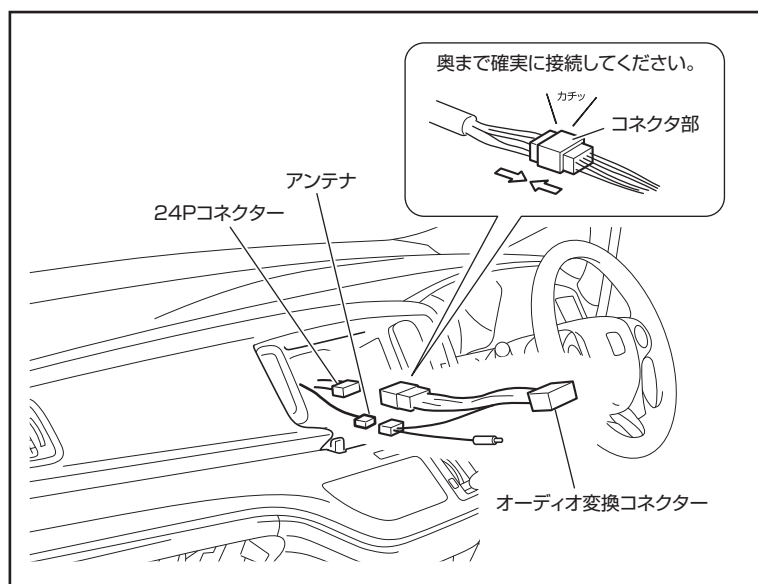
■パーキングブレーキ信号、バック信号の接続

1. オーディオ取付部にある3Pコネクタから出ているパーキングブレーキ信号線に、圧着コネクタを使用してパーキングブレーキ延長コードを接続します。

注意 カプラー形状や配線の色は、年式、グレード等により異なる場合がありますので、必ずデスターで確認してから接続してください。

2. オーディオ取付部にある3Pコネクタから出ているバック信号線に、圧着コネクタを使用してリバース延長コードを接続します。

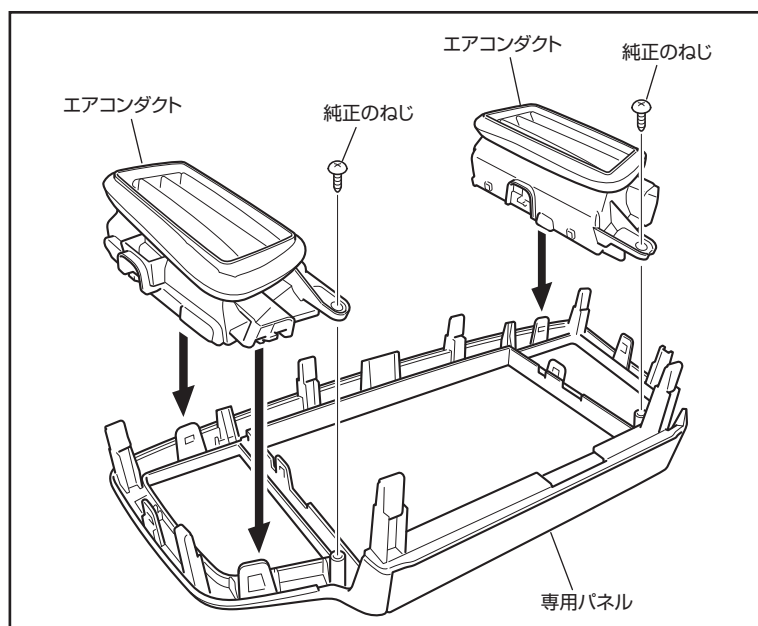
注意 カプラー形状や配線の色は、年式、グレード等により異なる場合がありますので、必ずデスターで確認してから接続してください。



■オーディオ変換コネクタの接続

1. オーディオ取付部にある24Pコネクタとアンテナにオーディオ変換コネクタを接続します。

6. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 純正のセンタークラスターパネルから、エアコンダクトを取り外します。
2. 専用パネルにエアコンダクトを取り付けます。



注意

フックがしっかりとかかっていることを確認してください。

3. 接続図を参照して配線を接続します。



注意

「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

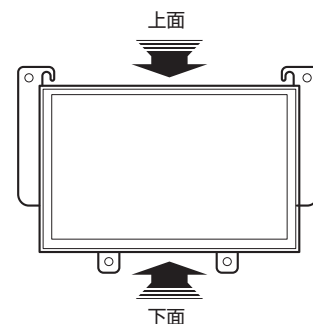
フィルムアンテナ	A	A	B	B
アンテナコード	1	2	3	4
ナビ背面のアンテナ端子位置	A	B	C	D

4. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。



注意

●ナビゲーション本体の上面と下面を持って取り付けてください。



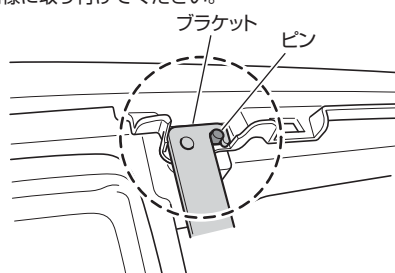
※パネルだけを持たないようにしてください。

●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

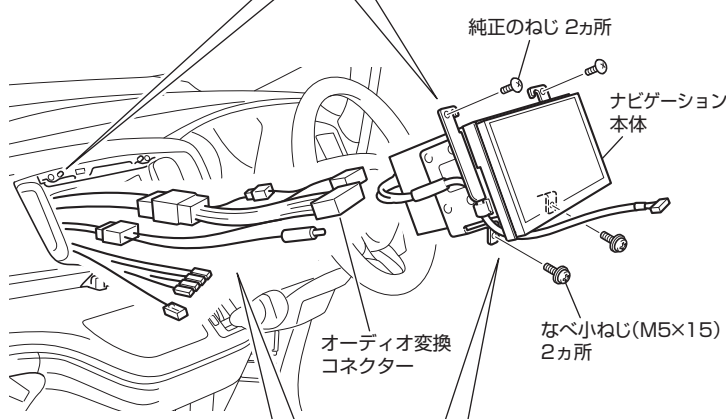
●モニターの前を強く推さないでください。

<ナビゲーション左上側>

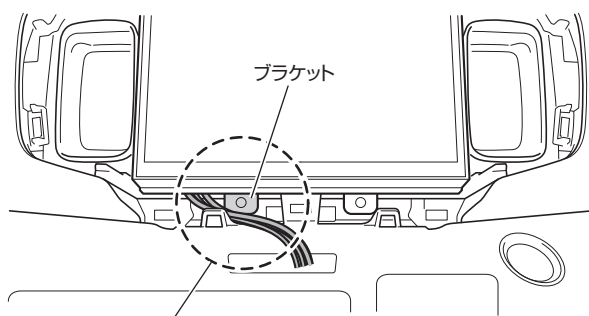
・右上側も同様に取り付けてください。



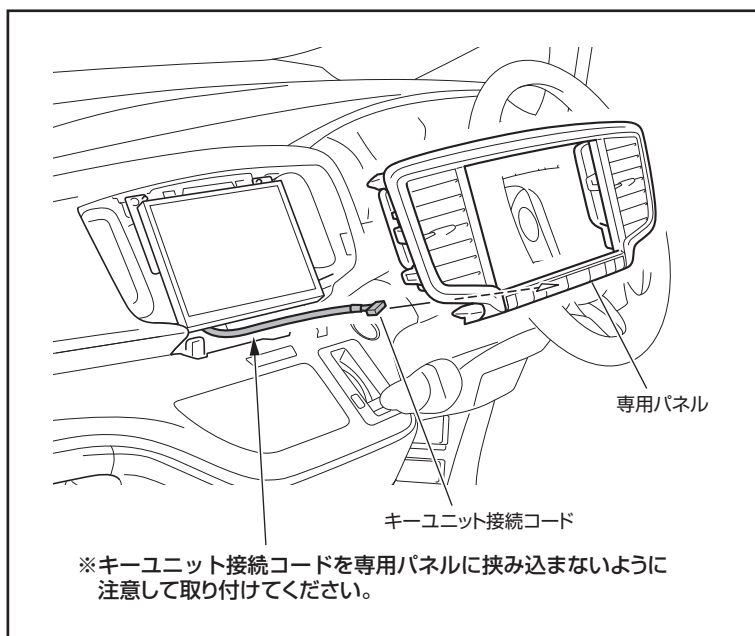
※ブラケットを取付部のピンにしっかりとひっかけて純正のねじで固定してください。



<ナビゲーション下側>



※ブラケットがキーユニット接続コードを挟み込まないように注意して取り付けてください。



5. キーユニット接続コードを専用パネルに接続します。
6. 専用パネルを取り付けます。



注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

取り付けが終わったら、16 ページ以降を参照してクイックセットアップ、接続確認を行ってください。



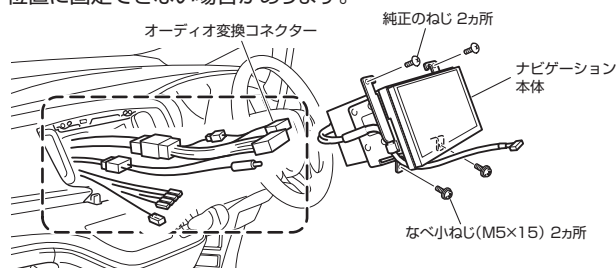
注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

■配線の挟み込み/配線の処理について

- ナビ本体の上側/背面/下側(斜線エリア)に配線を挟みこまないように注意してください。

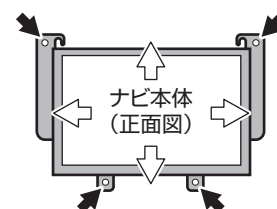


- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめず分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
 - ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。

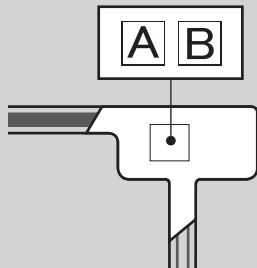


フィルムアンテナの貼付方法

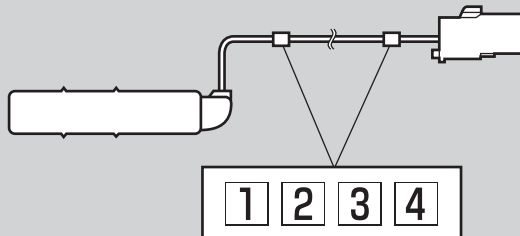
■ フィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせについて

- フィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせ、貼り付け位置は決まっています。
- フィルムアンテナにはA/Bの2種類があり、アンテナコードにも①②③④の4種類があります。

<フィルムアンテナ>



<アンテナコード>



実際の作業を行う前にフィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせを確認し、決められた貼り付け位置に取り付けを行ってください。正しい組み合わせ、取り付けを行わないと、受信性能の劣化につながります。

1 アンテナの貼り付け位置を確認する。

1) フィルムアンテナをセロハンテープで仮止めする。

- アンプがフロントウィンドウ内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止めします。
このときアンプは、できるだけ車体に近い位置に貼り付けてください。

2) フィルムアンテナの貼り付け位置をセロハンテープ等でマーキングする。

2 フィルムアンテナを貼り付ける。

1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。

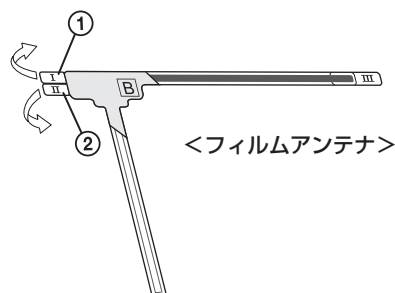
2) フロントウィンドウの汚れ（ごみ・油等）やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとる。 油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。

- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

3) アプリケーションフィルムの端をフロントウィンドウ貼り付け位置に合わせ、端から貼り付ける。

- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

- ① アンテナのアプリケーションフィルム（糊付きフィルム）から、ゆっくりとタグ「I」部のセパレーター（透明フィルム）をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。



- ② 続けて、タグ「II」部をゆっくりとはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。

- アプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターをはがしてください。セパレーターをはがした状態では、車内から見たアンテナのパターンは銀色、糊面のパターンは黒色になります。

セパレーター側にアンテナが残った場合には

- アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。
- 最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに残る場合があります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。



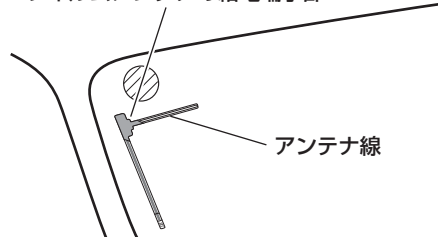
注意

- セパレーターを急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

4) アンテナをしっかりガラスに密着させる。

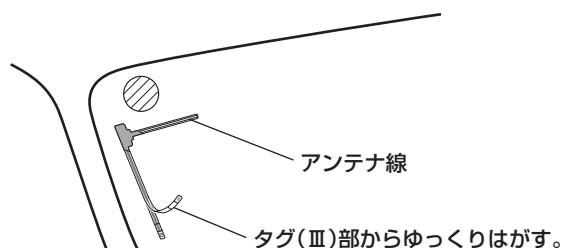
- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す（困難な場合は、樹脂ヘラ使用）。アンテナ線の無い部分は、あとではがしますので、強く押す必要はありません。
- 給電端子部分は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。

フィルムアンテナの給電端子部



5) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、タグ「Ⅲ」部からアプリケーションフィルムをゆっくりはがす。

- アプリケーションフィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、アプリケーションフィルムを一度もとに戻し、アンテナ線を中心に強く押し定着させてから再度はがしてください。



6) アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。

- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電端子部分には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電端子部分が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

3 コードを配線する。

1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナコードを配線する。

- 実際に配線する前に、フィルムアンテナと組み合わせるアンテナコードを確認しセロハンテープ等で仮止めし、アンテナコードのアンブ給電端子の先端部がフィルムアンテナに届く位置にくるように調整してください。

4 アンブをフィルムアンテナに取り付ける。

1) アンブ裏面(給電端子部)の保護シートをはがす。

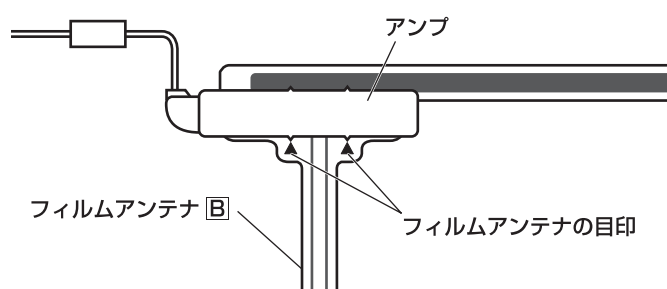
<アンテナコードアンブ部裏面>



2) アンブの突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。

- 給電端子は正しい位置に貼り付けてください（端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません）。

<フィルムアンテナ図の場合>

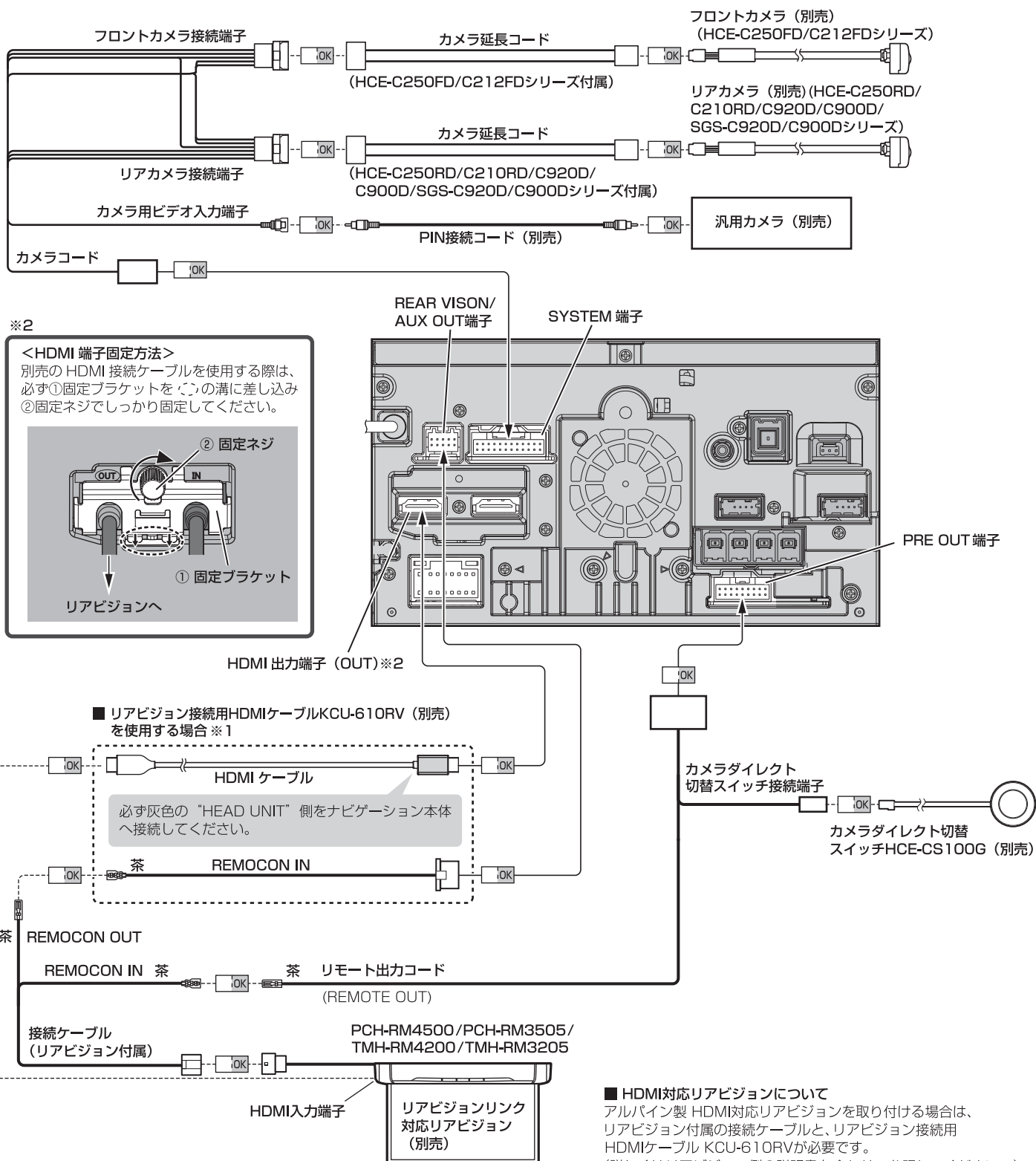


システムアップの例

接続する製品の取扱説明書および取付説明書も合わせてご覧ください。

<カメラ接続時の注意>

- ・リアカメラを、リアカメラ接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
- ・TOPVIEW マルチカメラ接続に関しては、HCE-C500 シリーズの取付説明書をご覧ください。
- ・TOPVIEW マルチカメラ接続時は、他のリアカメラ / フロントカメラを接続することはできません。
- ・カメラ用ビデオ入力端子に汎用カメラを接続する場合はナビゲーション側で設定が必要です。詳しくは取扱説明書「6.6 各種設定」 - 「その他 設定画面について (3/4)」を参照してください。



※1 組み合わせるリアビジョンによって使用するケーブルが異なります。詳しくはリアビジョン側の取付説明書を合わせて参照ください。

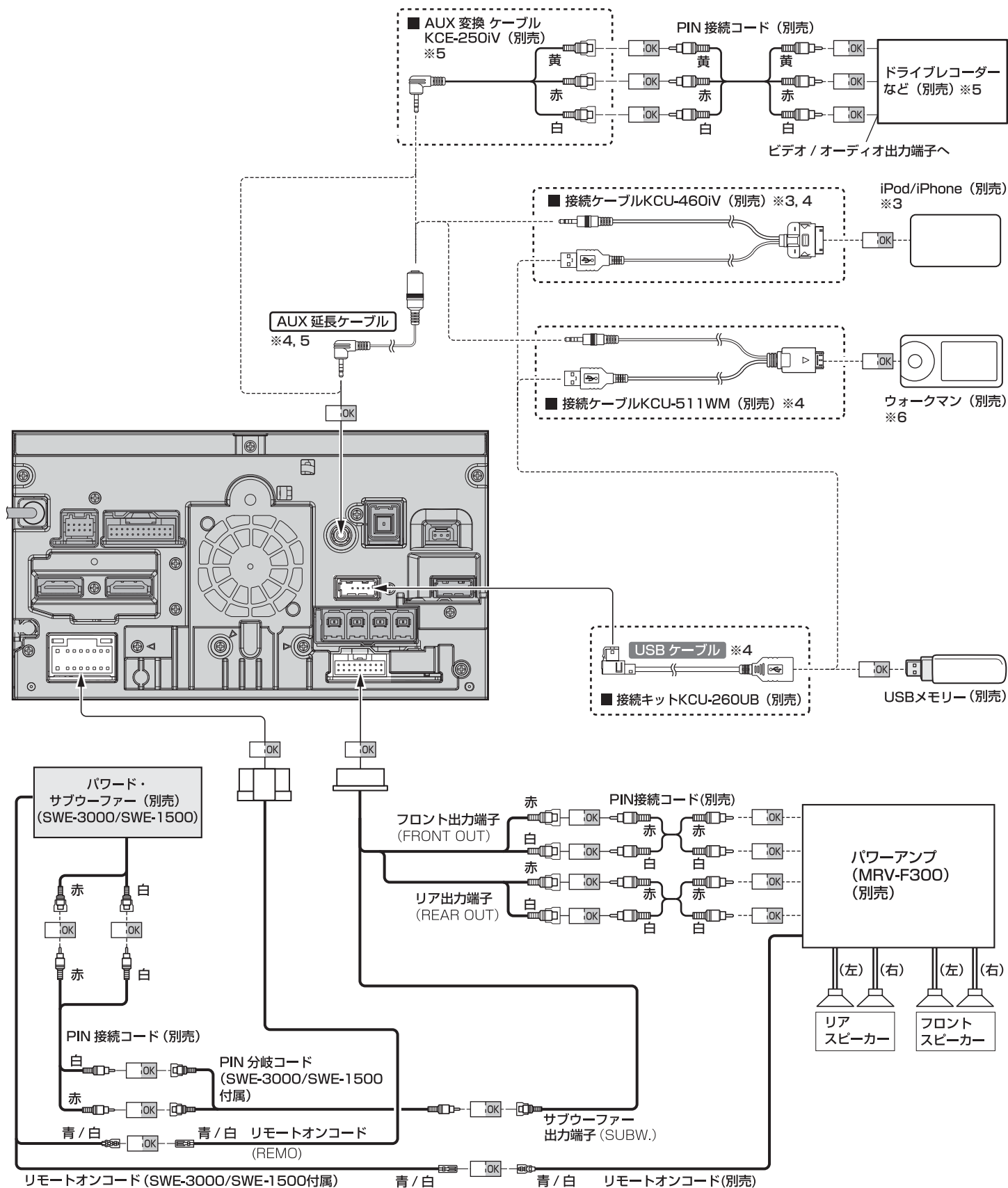
※2 HDMI 接続端子は必ず付属の固定ブラケットで固定してください。



注意

- 車種専用チューニング設定の際に、ご使用のリアビジョンのモデル名が表示されない場合は「その他リアビジョン」を選択してください。
- リアビジョン側のシステム設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール]設定がある場合は、必ず[ナビ]に設定してください。

- ※3 iPod / iPhone の種類に応じて別売の 30 ピン接続ケーブル KCU-460iV または Lightning-USB 変換ケーブル KCU-470i または KCU-471i が必要です。
 - KCU-460iV を使用し Lightning コネクタ搭載 iPod / iPhone を接続する場合は Lightning - 30 ピンアダプター (アップル製) が必要です。
 - KCU-471i を使用する場合は、別途 USB ケーブルが必要です。
- ※4 別売の KCU-460iV または KCU-511WM などに付属の **USB ケーブル** や **AUX 延長ケーブル** はそれぞれ共通で使用できます。いずれかの **USB ケーブル** と **AUX 延長ケーブル** を使用し接続対象機器を差しかえて使用することができます。
- ※5 外部入力製品 (ドライブレコーダーなど) を接続する場合は別売の AUX 変換ケーブル KCE-250iV が必要です。また KCU-460iV または KCU-511WM 付属の **AUX 延長ケーブル** を使用し、接続することもできます。
- ※6 本機へウォークマン® を接続する際は、必ずウォークマン® 本体の設定を行ってください。詳しくは取扱説明書「5.22 ウォークマン® をつないで使う」を参照してください。またウォークマン® の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。



- ※7 iPhone5をHDMI接続する場合は、Lightning-DigitalAVアダプター（アップル製）およびLightning-USB変換ケーブルKCU-471iとHDMI接続ケーブルKCU-610HDが必要です。
- ※8 iPhone5をLightning接続する場合は、Lightning-USB変換ケーブルKCU-470i（USBケーブル付属）が必要です。
- ※9 iPhone4/4S/3GS/3GをHDMI接続する場合は、30ピンDigitalAVアダプター（アップル製）および30ピン-USBケーブル（アップル製）とHDMI接続ケーブルKCU-610HDが必要です。
- ※10 mini HDMI端子対応機器（デジカメ/ビデオカメラなど）を接続する場合、KCU-610HCと別途KCU-610HDの購入が必要です。
- ※11 接続する機器によっては同時接続できない場合があります。

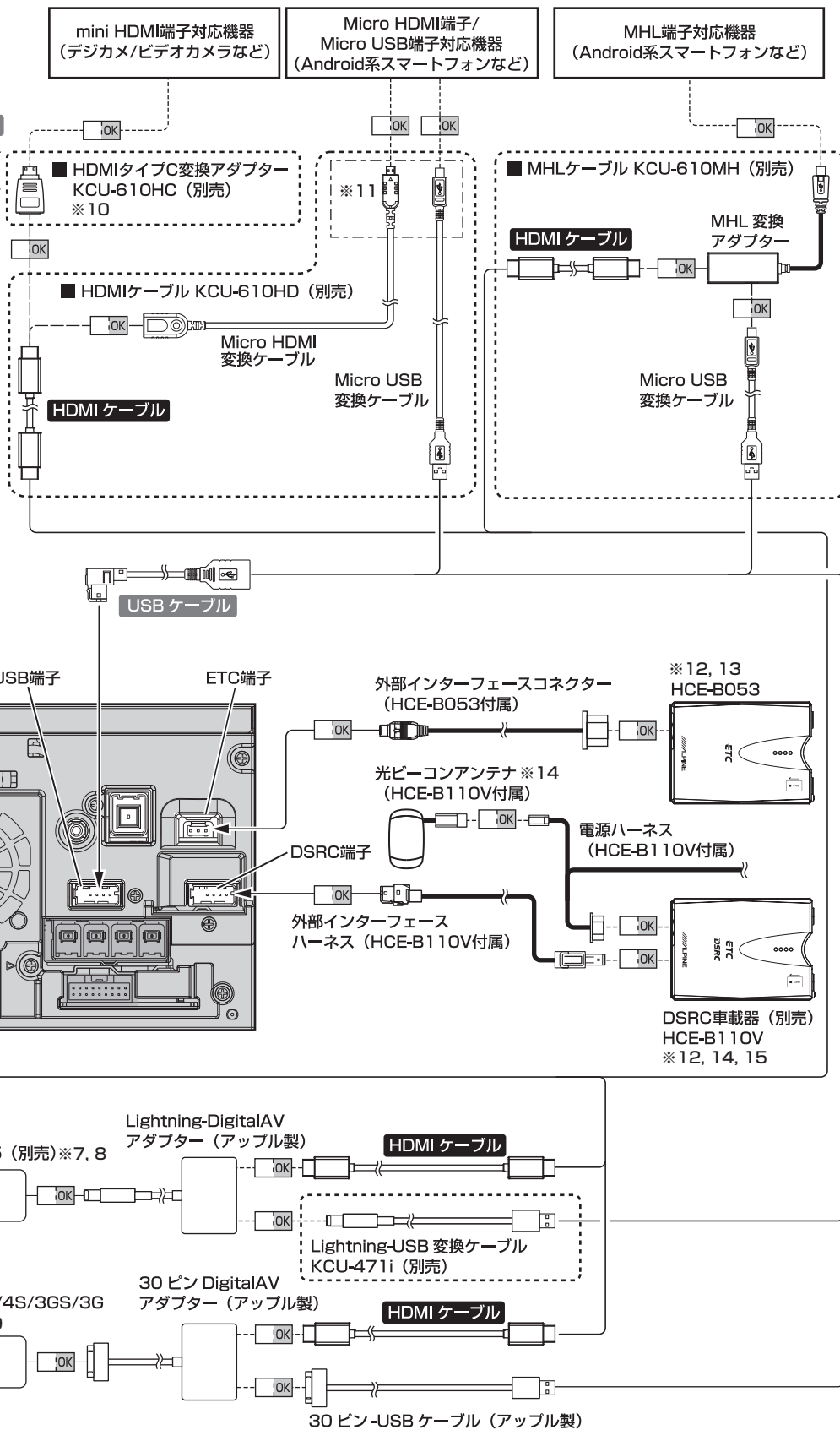
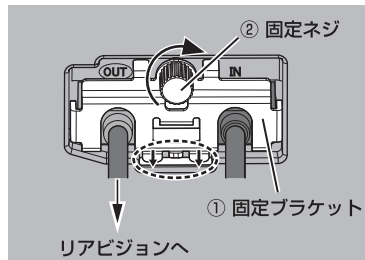
■ HDMI 対応機器について

本機へHDMI対象機器を接続する場合は、それぞれHDMI端子タイプに対応した別売の接続ケーブルが別途必要です。

複数のHDMI対応機器を同時に接続することはできません。別売の接続ケーブルには **USBケーブル** または **HDMIケーブル** が付属されており、それぞれ共通で使用できます。いずれかの **USBケーブル** または **HDMIケーブル** を使用しHDMI対象機器を差し込んで使用することができます。

<HDMI 端子固定方法>

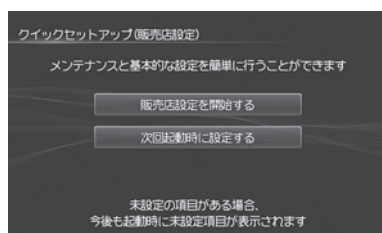
別売のHDMI接続ケーブルを使用する際は、必ず①固定ブラケットをこの溝に差し込み
②固定ネジでしっかり固定してください。



- ※12 ETC車載器とDSRC車載器を同時に接続することはできません。
- ※13 別売のETC車載器HCE-B043を使用する場合はHCE-B043の取付説明書を参照の上、取り付けを行ってください。
- ※14 DSRC車載器・HCE-B110Vを接続される場合、付属の光ビーコンアンテナを使用してください。その場合、HCE-T062の接続はできません。
- ※15 別売のDSRC車載器HCE-B100の接続には対応しておりません。

4. クイックセットアップ（販売店設定）を行う

取り付け完了後、初回起動時にクイックセットアップ（販売店設定）画面が表示されます。



クイックセットアップ（販売店設定）設定終了後は、お客様向けクイックセットアップを行います。

お客様向けクイックセットアップについては取扱説明書「1.1 クイックセットアップをする」を参照してください。

■ クイックセットアップ（販売店設定）で設定する項目は次の通りです。

【販売店設定】:

取り付けされた販売店の位置情報を登録することができます。

【メンテナンス】:

オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期をお知らせする設定ができます。

【カメラダイレクトキー設定】:

別売のカメラダイレクトキー（HCE-CS100G）の接続設定を行います。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの設定方法の流れを説明します。

各設定項目およびお客様向けクイックセットアップの詳細な設定方法については、取扱説明書「1.1 初期設定」または「6.10 車種専用チューニング 画面について」項目を参照してください。

クイックセットアップを行う前の事前確認

リアビジョンリンク対応リアビジョンが接続されている場合で、リアビジョン側のシステム設定に[コーディネートカラーコントロール/プラスマクラスターコントロール]設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側のコントロール設定を[ナビ]に設定してください。

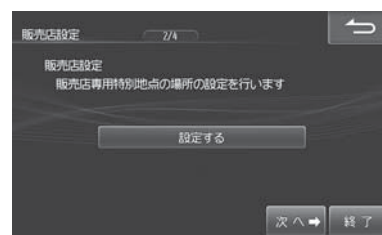
1 クイックセットアップ（販売店設定）画面の **販売店設定を開始する** にタッチする。

販売店設定画面が表示されます。

- **次回起動時に設定する** にタッチすると、未設定のままお客様向けクイックセットアップ画面が表示されます。
販売店向けクイックセットアップ（販売店設定）は次に電源を入れた時に再度画面が表示されます。

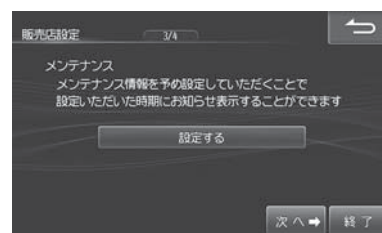
2 販売店設定画面の **設定する** にタッチし、**地図から** **電話番号から** **住所から** のいずれかの方法で販売店登録を行ってください。

- 設定完了後、**次へ→** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。



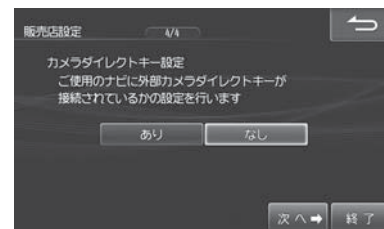
3 メンテナンス画面の **設定する** にタッチし、オイル交換時期 やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を登録します。

- 設定完了後、**次へ→** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。



※ 手順2から4までの各設定項目を未設定のまま **次へ→** をタッチした場合は、次の設定画面が表示されます。
また、**終了** にタッチした場合は、販売店向けクイックセットアップが終了します。設定されなかった項目は、電源を入れるたびに販売店向けクイックセットアップ 画面が表示されますので必ず設定を行ってください。

4 カメラダイレクトキー設定画面の **あり** または **なし** にタッチします。



- カメラダイレクトキー設定画面で **終了** にタッチすると販売店向けクイックセットアップが完了します。
お客様向けクイックセットアップ画面は次に電源を入れた時に表示されます。

販売店向けクイックセットアップ完了後は、お客様へ設定した内容をお伝えください。

5. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 **メニュー** スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

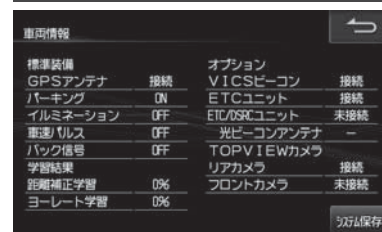
2 **情報** にタッチします。



3 **車両情報** タブにタッチし、**車両情報** にタッチします。



車両情報画面が表示されます。

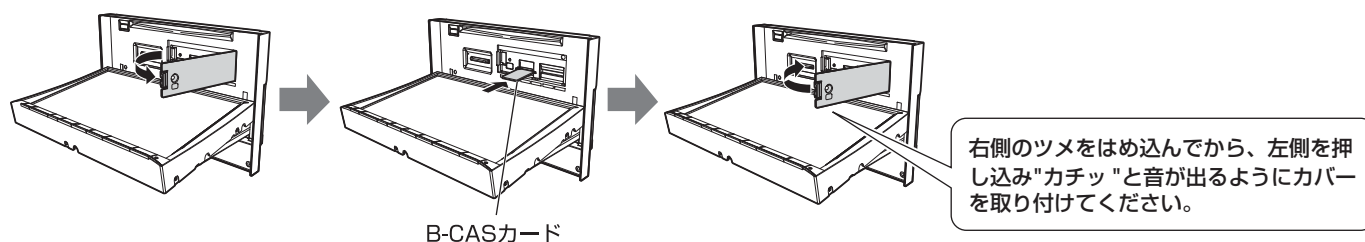


- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

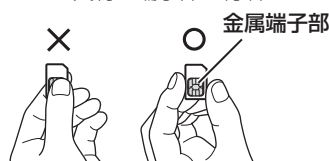
6. テレビの初期設定を行う

本機で地上デジタルテレビを見るには、B-CASカードを挿入する必要があります。

1 付属のB-CASカードの表面を上にして”カチッ”と音がするまで差し込んでください。



- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。



- 手でたえがあるまで確実に挿入してください。
- カバーを閉めたあと、本機は自動的に再起動します。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了してもB-CASカード破損等の場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは取扱説明書「5.2 テレビを見る」-「B-CASカードについて」を参照してください。

- 1** **MODE** スイッチを押します。
AVソースメニュー画面が表示されます。

- 2** **TV** にタッチします。



- 3** お住まいの地域の郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 4** お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、**完了** にタッチします。



- 5** お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、**ホームスキャン** にタッチします。

ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。



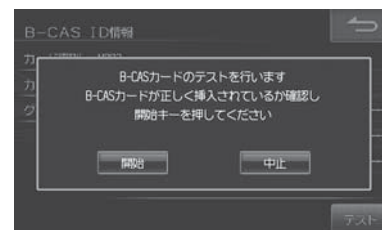
- 6** **テスト** にタッチします。



- 7** **開始** にタッチします。

B-CASカードのテストが開始されます。

テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。



注意

- B-CASカードのテスト中は、B-CASカードを取り出したり、電源をOFFにしないでください。カードの破損や故障の原因になります。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL: 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS: 20秒10円)

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けて
います。



- 電話受付時間（日曜・祝日・弊社休業日を除く）

月曜～金曜日 9:30～17:30

土曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:00

<FAXでのお問い合わせ>

FAX: 048-662-6676

- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/ 島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/ 高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/ 宮崎県/沖縄県